

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	人間と歴史	
科目基礎情報							
科目番号	0046		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	なし						
担当教員	角谷 英則						
到達目標							
学習目的：歴史学的な思考の方法をまなぶことを通じて教養を深め、視野をひろげること。 到達目標：人文・社会科学的な視点から人間、社会、文化について多面的に理解し、国際社会の一員として社会的諸問題の解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う。人間活動や科学技術の役割と影響に関心を持ち、幸福とは何かを追究しながら、技術者として社会に貢献する自覚と素養を培う。日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的観点から理解できるようになる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	十分に授業に参加すること		2/3以上の授業に参加すること		2/3以上の授業に参加すること		10時間をこえて欠席すること
評価項目2	指示に十分に合ったレポートを提出すること		指示にある程度合ったレポートを提出すること		指示に最低限したがったレポートを提出すること		指示に従ったレポートを提出しないこと
評価項目3	なし		なし		なし		なし
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 人文・社会 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：歴史学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（５）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(B)地球的視野に立った人間性の育成」「B-2:地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」である。 授業の概要：この授業においては、世界史および日本史の学習内容をふまえ、歴史学の主要テーマをひろく発展的にあつかう。						
授業の進め方・方法	授業の方法：基本的には講義形式によって進める。ただし、受講人数によってはより効果的な双方向性の確保のために、ゼミナール形式にきりかえて実施する。 成績評価方法： 原則として2回の試験または口頭報告で評価する（50%×2）						
注意点	履修上の注意：本講義では、授業時間外における学生自身による準備が必要となることに留意されたい。また本科目は、「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが、これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：カリキュラムにおいて設定されている時間数に比するなら、学習内容は膨大である。授業において、すべてを網羅することは不可能なので、図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。 基礎科目：世界史（1年）日本史（2）政治経済（2） 関連科目：社会科学概論（専2） 受講上のアドバイス：遅刻に対するペナルティは特にもうけないが、受講者の良識を期待する。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	今年度は開講しない。				
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	試験	発表	相互評価	自己評価 課題 小テスト 合計
総合評価割合	100	0	0	0 0 0 100
基礎的能力	100	0	0	0 0 0 100
専門的能力	0	0	0	0 0 0 0
分野横断的能力	0	0	0	0 0 0 0